

「北陸の秋色風景」

鮮やかに色づく木々が
ドラマティックに誘惑する

今年も紅葉の季節が巡ってきました。冬を前に燃え上がるような
錦秋は、哀愁を帯びた美しさで大人たちを魅了してやみません。
自然豊かな北陸のおすすめの紅葉スポット10選です。そして
景色を愛でたあとのグルメスポットも紹介します。

兼六園

金沢城公園

那谷寺

鶴仙溪

養浩館庭園

嚮陽庭園

万葉の里 味真野苑

高岡古城公園

五箇山 相倉合掌造り集落

立山黒部アルペンルート



巨岩奇岩の名刹に 燃えたつ紅葉

紅葉 POINT

拝観にかかる時間は、一般拝観エリアで30～40分、特別拝観エリアは15分くらいなので、ゆっくりまわっても全体で1時間程度。紅葉の時期は混雑必至。開園直後がおすすめ。

↑ 参道から見た奇岩遊仙境。自然の驚異を感じさせる奇観



紅葉 POINT

紅葉時の散策は山崎山がおすすめ。ケヤキやカエデなど落葉広葉樹が多く、秋には山全体が赤や黄色に包まれて、別名、紅葉山とも。山上にはひと息つける東屋がある。

↑ 霞ヶ池を一周しながら水泉と紅葉の美のコラボを満喫



↑ 秋も深まると山崎山の周辺は落葉のじゅうたんが

今に受け継がれた 加賀百万石の紅葉



北陸で名園の紅葉といえば兼六園は外せません。水戸の偕楽園、岡山の後楽園と並ぶ三名園の一つ。加賀藩前田家の歴代藩主が造り上げた大名庭園です。園内は約8000本の樹木に覆われ、池や曲水、山や坂のある起伏に富んだ造り。紅葉の見ごろは11月で、見どころの一つは瓢池の翠滝。周囲には全国各地の紅葉の名所から取り寄せたモミジが植栽されています。また、霞ヶ池では雪吊りが施された深緑の唐崎松と紅葉のコントラストが見ものです。

☎ 076-234-3800 (石川県金沢市・兼六園管理事務所) 石川県金沢市兼六町1
入園320円 7～18時(10月16日～2月末日は8～17時) ※入園は閉園の30分前まで 無休 P なし

おすすめグルメはコチラ▶P34～35

紅葉 POINT

玉泉院丸庭園は毎週土曜に夜間開園とライトアップがあり、音楽と光を組み合わせた演出が行われている。紅葉時の11月には期間限定で平日も実施。公式サイトをチェックを。



↑ 紅葉×石垣。築かれた時代や場所によって多様な形状の石垣が

金沢城公園 寄り添う紅葉

城郭の復元が順々に行われ、見どころが増えている金沢城公園。ここは石垣の博物館としても有名です。戦国～江戸時代まで、その時々々の技術によって修復されてきたことで、さまざまな石垣が残り、場所によつて積み方も変わるなど、技術や意匠の変化がうかがえます。紅葉時は玉泉院丸庭園へ。色紙や短冊のような形の石を組み合わせた、デザイン性の高い色紙短冊積みの石垣を、赤く色づいた木々が取り囲みます。見ごろは11月です。

☎ 076-234-3800 (石川県金沢市・兼六園管理事務所) 石川県金沢市丸の内1-1 入園無料(菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門は共通で入館320円) 7～18時(10月16日～2月末日は8～17時)、菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門は9時～16時30分(入館は～16時) 無休 P なし

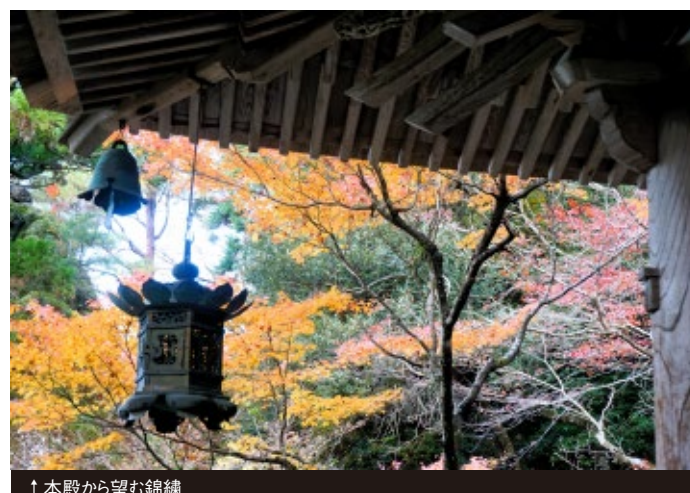
那谷寺

なたでら



↑ 楓月橋の欄干にまたがる「木組の猿」。見つけると幸せになるそう

約1300年前に創建されたと伝わる岩窟の古刹。山門をくぐれば、うつそうとした樹木に覆われた参道が続きます。巨大な岩がそそり立つ迫力の奇岩遊仙境や、岩壁にはりつくように建てられた本殿・大悲閣、森を縫うようにかかる楓月橋、そして特別拝観エリアの書院とその庭園など、見どころ満載です。紅葉の見ごろは11月で、特に展望台から眺める奇岩遊仙境は必見。白い岩肌と真っ赤な紅葉の対比はここにしかない独特の美しさです。



↑ 本殿から望む錦織

☎ 0761-65-2111 石川県小松市那谷町U122 拝観1000円(特別拝観はプラス1000円) 9時15分～16時 無休 P 300台



紅葉 POINT

見どころは東西園路のヤマモミジ。11月中旬～下旬が見ごろで、紅葉のシーズンにはライトアップも開催。灯りに照らされた木々が池面に映り込み、幻想的な雰囲気に包まれる。

気分はお殿様
復元された名庭の紅葉

↑ 水の上に浮かぶような屋敷を彩る紅葉。秋のベストショット



おすすめグルメはコチラ▶P34~35



↑ 屋敷から庭を眺める視線の高さは当時の状態を保っている。殿様も同じように眺めていたかも

☎0776-20-5367(福井市文化振興課)※土・日曜、祝日は0776-21-0489(福井市立郷土歴史博物館) 福井県福井市宝永3-11-36 入園220円(福井市立郷土歴史博物館との共通券350円) 9～19時(11月6日～2月末日は～17時)※入園は閉園の30分前まで 無休(臨時休園あり) P20台

江戸時代中期に建てられた福井藩松平家の別邸跡です。建物は福井空襲で焼失しましたが、庭園の石組や築山が残っていたことから、平成5年(1993)に庭園の修復、建物の復元が行われました。庭園が色づき始めるのは9月中旬からで、池の周囲は11月上旬～12月上旬が見ごろ。屋敷の窓から池端の紅葉を眺めたり、池の周りを散策して、さまざまな場所から紅葉を楽しめます。10月から施される雪吊りの造形美と紅葉の競演も見ものです。



↑ 池の周囲を散策。屋敷内の見学と合わせて、所要時間40分ほど



↑ こおろぎ橋のたもとには真紅の見事な大木が

☎0761-78-0330(山中温泉観光協会) 石川県加賀市山中温泉 見学自由 P34台(こおろぎ橋駐車場22台、あやとりはし駐車場12台)

石川県
加賀市

鶴仙溪

かくせんけい

いで湯の里で愛でる
溪谷の紅葉



↑ 下から見上げるこおろぎ橋と紅葉。鶴仙溪の紅葉を象徴するショット

加賀温泉郷の一つ、山中温泉の中心部を貫く大聖寺川の景勝地です。溪谷沿いに約1・3kmの遊歩道が整備されており、気軽に散策しながら溪谷美を堪能できます。ビュースポットは溪谷に架かる黒谷橋、あやとりはし、こおろぎ橋の3つの橋。それぞれに趣は異なりますが、いずれも写真映えは◎。紅葉は11月上旬から徐々に始まり、黒谷橋からあやとりはし、こおろぎ橋周辺へと進んでいきます。見ごろは11月中旬です。

紅葉 POINT

鶴仙溪では4～11月の期間限定で、弁当(要予約)やスイーツを味わえる川床がオープン。清流のすぐそばで、川音を聞きながら、斬新なデザインのあやとりはしを望める特等席。



↑ 苔むした階段と落葉が織りなす錦織

加賀藩前田家2代当主の前田利長が築いた高岡城。その跡地を整備した公園です。射水神社や動物園、芝生広場などがあります。市民の憩いの場となっています。慶長20年（1615）の「国」城令で廃城となりましたが、水濠はほぼ

そのまま残り、21万㎡という広大な敷地の3分の1を占めています。紅葉の見ごろは11月中旬～下旬で、水濠周辺の木々は特に色づきがよく、水面が鏡のように紅葉を映して、息をのむような美しさです。

富山県
高岡市

高岡古城公園

たかおかこじょうこうえん



↑水濠の周囲に設けられた散策路



↑本丸エリアと小竹藪エリアを結ぶ朝陽橋

☎0766-20-1563（高岡古城公園管理事務所）
📍富山県高岡市古城1-9 🕒随時見学自由 🅇119台（北口駐車場68台・小竹藪駐車場51台）

古城の面影をとどめる 水濠の紅葉

紅葉 POINT

秋の散策は、中の島と西内壕の周囲をぐるりと歩く約1.4kmのコースがおすすめ。噴水や朝陽橋（ちょうようばし）など、紅葉との組合せが美しいスポットが撮影できる。



↑中の島の紅葉と北内壕にある噴水。爽やかな秋の景色



↑「日本の歴史公園100選」にも選ばれている西山公園。その前身は、間部詮勝が領民とともに楽しむために造った庭園、嚮陽溪

約5万株のツツジが咲き誇る花の名所として名高い鯖江市の西山公園。その東山に位置するのが嚮陽庭園です。西山公園全体で約1600本のモミジが植栽されていますが、そのうち760本が嚮陽庭園にあります。紅葉の見ごろは11月中旬～12月上旬で、見どころは高台にある日本庭園、上段の庭。幕末に老中を務めた鯖江藩7代藩主、間部詮勝ゆかりの嚮陽苑を再現しており、豊かな水をたたえた池とあずまを取り囲む紅葉が風情を醸し出します。

福井県
鯖江市

嚮陽庭園

きょうようていえん

☎0778-51-1001（鯖江市公園管理事務所）📍福井県鯖江市長泉寺町1-10 🕒随時見学自由 🅇20台



鯖江藩の名君に ちなんだ庭園の紅葉

紅葉 POINT

嚮陽庭園から西山橋を渡ると、ツツジが植栽されている広場や動物園のある西山エリア。展望台へ続く、折りの道も紅葉スポットで、展望台からは鯖江市内を一望できる。

↑嚮陽庭園の上段の庭。紅葉に染まる池には、さらに艶やかな錦鯉が

🍴🍷 おすすめグルメはコチラ▶P34～35

万葉の昔に 思いを馳せる 山麓の紅葉

紅葉 POINT

休憩所・万葉庵の庭園と、駐車場そばの池泉庭園、万葉庵の庭園から流れ出る曲水の周辺が見どころ。苑内には万葉歌人の歌碑が設置されており、詠み解いていくのも一興。



↑周囲の山々が借景となって奥行きが感じられる造り

万葉の歌人とゆかりの深い味真野地区にある市民公園。4万7000㎡の敷地には、万葉集をテーマにした展示資料館や、万葉集に登場する花々を植栽した花園があり、四季を通じて花の名所となっています。さらに、曲水や池に石組みや樹木を巧みに配した日本庭園があります。普段は落ち着いた趣ですが、紅葉の時期は赤や黄色の樹木がアクセントとなつて、優美な表情を見せてくれます。紅葉は10月下旬から始まり、見ごろは11月です。

福井県
越前市

万葉の里 味真野苑

まんようのさと あじまのえん

☎0778-27-7800 📍福井県越前市余川町22-96-1 🕒入園無料 🕒9～17時（入園は～16時30分）📅月曜（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日 🅇80台



↑ 弥陀ヶ原の遊歩道。紅葉の湿原の向こうに雲海が見えることも



↑ 富山の県鳥で国の特別天然記念物、ライチョウ。室堂平付近で出合えることがある

☎ 076-481-1500 (立山黒部総合案内センター)
 富山県中新川郡立山町千寿ヶ原2 (立山駅) 12月～4月中旬 立山駅900台 (繁忙期はさらに600台あり)



↑ 視界を遮る支柱がない立山ロープウェイからは360度のパノラマが

富山県と長野県にまたがる立山連峰、後立山連峰を横断する約37・2kmの山岳観光ルートです。登山をしなくても、ケーブルカーや電気バス、ロープウェイなどの乗り物を使いながら大自然を体感できるのが魅力。紅葉は9月中旬に標高2450mの室堂周辺から始まり、11月にかけて麓へと下っていきます。標高差が1975mもあり、場所によって見ごろの時期も移り変わるので、公式サイトでの情報やライブカメラのチェックがおすすめ。

富山県
立山町

立山黒部アルペンルート

たてやまくろべあるぺんーと

3000m級の山岳に広がる
 圧巻の紅葉



紅葉 POINT

紅葉の中を散策するなら9月中旬～10月上旬は室堂平、10月上旬～中旬は弥陀ヶ原へ。美女平は10月中旬からが見ごろで、木々に覆われた遊歩道は紅葉のトンネルのよう。

↑ 美女平～室堂まではバス移動。車窓から大自然を一望



紅葉 POINT

駐車場から徒歩5分ほどの高台にある展望台がお約束の撮影スポット。紅葉の山々と、それに守られるかのように家屋が立ち並ぶ集落を見渡せる。晴れた日には白山連峰も遠望。

↑ 同じ五箇山の菅沼(すがぬま)、岐阜県の白川郷の合掌造り集落と共に、世界遺産に登録されている

富山県
南砺市

五箇山 相倉合掌造り集落

ごかやま あいのくらがっしょうづくりしゅうらく

懐かしさがこみあがる
 山里の紅葉



↑ 山とともに暮らす住民の生活感が溢れる集落

☎ 0763-66-2123 (世界遺産相倉合掌造り集落保存財団) 富山県南砺市相倉 100台 (相倉共同駐車場利用500円)

おすすめグルメはコチラ▶P34～35



↑ 周囲を山に囲まれ、平家の落人の隠れ里だったという伝説も納得のたたずまい

築100～200年という合掌造り家屋20棟を有する五箇山最大の合掌造り集落です。山また山の険しい地形と、積雪2mを超す冬の豪雪によって、昭和の半ばまで交通手段に乏しく、まさに「陸の孤島」でした。そんな外界の影響を受けない秘境の地であったことが、逆に日本の原風景といわれる貴重な集落を残す要因となりました。10月下旬～11月上旬は、山々の色鮮やかな紅葉に、厳しい冬を前にした侘びた気配が漂い、より郷愁を誘います。

万葉の里味真野苑から車で16分

そば蔵 谷川

そばくら たにかわ



低温貯蔵した福井県丸岡産の玄そばを使用。おろしそば950円～



蔵を改装した風情ある建物

自家製粉石臼挽き十割そばを越前焼の器で提供。そばの風味を存分に味わえる。福井名物のおろしそばがおすすめで、大根おろしも辛味の異なる3種類の大根をブレンドしたこだわりの味。

☎0778-23-5001 ㉔越前市深草2-9-28
㉔11時30分～14時(そばがなくなり次第終了) ㉔月・火曜、第1・3・5日曜 ㉔15台

兼六園内



金沢の郷土料理を詰めた瓢弁当

三芳庵

みよしあん

兼六園内、瓢池の池面にせり出して建てられた風流な茶店。昼どきは、弁当が用意されており、夕顔弁当1800円、瓢弁当2400円。どちらも郷土料理の治部煮付きなので金沢の味を満喫できる。抹茶と生菓子750円でくつろぐのもいい。

☎076-221-0127 ㉔石川県金沢市兼六町1-11 ㉔10時～17時(食事は11時～14時30分、季節により変動あり) ㉔水曜(予約などにより前後する場合あり) ㉔なし

兼六園から車で6分

ビストロ高柳

びすとろたかやなぎ

舌の肥えた大人が通うフレンチビストロ
堅町ストリートから小路に一步踏み込んだ路地にある隠れ家的なビストロフレンチ。カウンターに向こう、ピカピカに磨きあげられた厨房に立つ高柳シェフが丁寧を作る本格派のフレンチが自慢。料理の実直さが伝わってくる良心的な価格設定のコースのほかアラカルトも用意され、正統派フレンチ出身だからこそその洗練された味とビストロの気軽さの両方が味わえる。店内の白壁には著名人のなぐり書きサインもあり雰囲気も欧風。予算は昼1500円、夜6000円。

☎076-262-5914 ㉔石川県金沢市里見町39 ㉔11時30分～13時30分LO、18時～21時30分LO ㉔月曜(祝日の場合は水曜) ㉔なし ㉔カウンター7席、テーブル14席



フレンチビストロの伝統料理パテはこの店のスペシャリテ。右奥はブティサレ



二次会にも使える気軽さがいい店内。カウンター同士で会話がはずむこともしばしば



季節のフルーツたっぷりのデザート。仕事帰りのおひとり様女子の来店も多く、デザートも重要な一品

五箇山 相倉合掌造り集落内



野菜天ぷらや山菜そばなどが味わえる

茶店 まつや

ちゃみせ まつや

富山県南砺市



ゆったりとくつろげる店内

☎0763-66-2631 ㉔富山県南砺市相倉445 ㉔9時～17時(食事は10時30分～16時) ㉔無休 ㉔なし

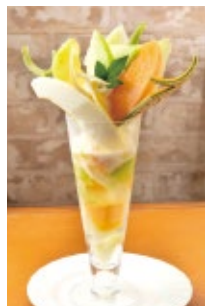
養浩館庭園から車で7分

フルーツパーラー果樹園

ふるーつぱーらーかじゅえん



季節の生フルーツをサンドしたフルーツサンドは1848円(コーヒー付)



5種類のメロンを使う、スペシャルメロンパフェは6～8月限定

老舗果物店・フルーツのウメダ直営の喫茶店。新鮮な高級果物をふんだんに使ったスイーツが大人気。おすすめは季節ごとの果物を贅沢に味わえるおまかせデラックスパフェ2420円。9月～12月提供のシャインマスカットパフェは2420円。

☎0776-24-1250(フルーツのウメダ)
㉔福井市中央1-9-23 ㉔9時30分～19時 ㉔水曜 ㉔なし

兼六園から車で7分

割烹 ゆづる

かっぽう ゆづる

石川県金沢市



山菜と湯葉と雲丹の土佐酢。余白の美を生かした一品



桜豆腐とあいなめの葛たたき。器もめでたい腕もの



目の届く範囲でのもてなしをしたいと小ぢんまりとした店内

小さな店ならではの細やかなもてなし
春なら山に分け入り山菜を取り、竹の子を掘る。秋はキノコも。海釣りにもでかけ、その成果を献立に生かす。毎朝、清らかな湧水を汲むのも日課で、それは手削りするカツオのダシにも生かされている。「今日は気に入った皿が手に入ったら、何を盛り付けようかワクワクする」。そんな具合に、何事にも楽しんで挑戦する平井さんの料理は、和食の基本をしっかりと守りつつもひらめきとアイデアに満ちている。おまかせコース1万3000円、完全予約制。

☎076-255-3780 ㉔石川県金沢市片町1-8-1 シャンテビル1階 ㉔18時～ ㉔日曜、祝日 ㉔なし ㉔カウンター4席、テーブル8席